

長屋談義 プーチンを語る

クマさん「ご隠居さん、いますかね～。いたら返事をしてくれよ～」

ご隠居「何だい、クマさん、今日はいやにあらたまっているんじゃないかね。

クマさん「いえね、あっしもいろいろオソワッテ勉強しているうちにいろいろわかってきたような気がしていたんだが、プーチンて奴はいいやつなんですかい。」

ご隠居「何だね急に、あのロシアのプーチン大統領だね？」

クマさん「そうなんで、あっしは戦争を仕掛けたり、クリミヤ半島を奪ったりしているんだから、悪い奴に決まっているんだらうと女房にどやしてしまったんで」

ご隠居「そうしたら奥さんが、実情も知らないで決めつけはしないほうがいいよ、なんて軽くいなされてしまったというわけだな。」

クマさん「えへっ、めんぼくね～。だけどなんか言い含めてやる方法はないもんだかね。」

ご隠居「別に奥さんに言い含めるためと言うよりクマさんがせっかくいろいろ知りたいと思っているんだから少しプーチン大統領のことをウクライナ、シリア、北方領土などについて話してみようか」

クマさん「ありがて～、これで女房に頭を下げなくて済みそうだ。ところでついでにプーチンが日本へ来るって話もあるけどそのへんのところも一発頼みませ。」

ご隠居「野球のバッターじゃああるまいに、一発で片づけられるもんじゃあない。

少し歴史も振り返って見ようじゃないか。」

クマさん「え～、また歴史ですかい。かいつまんでお願いしまっせ。」

ご隠居「そうだなあ、まず今のロシアはその前にはソ連（ソビエト連邦）だったことは知っているな。帝政ロシアは日露戦争で敗北して国内の混乱によって革命が起こり、農奴の解放と工業化が進んだわけだ。ソ連は社会主義国になりナチスドイツを打ち破る大きな力となったが、冷戦時代にはスターリン独裁と軍備拡張優先、同盟国支援のため財政破綻

と社会的停滞で自己崩壊してしまったといえる。」

クマさん「そのへんは何となく、それでいまのロシアになったんだな。」

ご隠居「まあ、そう早とちりされても困るな。政治的経済的にも行き詰ったからソ連は崩壊した。そして問題となった大きな二つのことだ。ひとつはウクライナや、グルジョアなどソ連を構成した国が分離独立したことだ。ソ連が東独などの自由化を容認したのはこれらの国を NATO には加盟させないという約束に基づいてだ。もう一つは崩壊したロシア経済の主力を支えたのが豊富な天然資源であった。ところがソ連崩壊によって民間に払い下げられたガス会社などが独占資本となり、さらにその利権を欧米の金融資本に売り渡そうとしたことだ。これを阻止したのがプーチンだ。だからプーチンはロシア国民にしてみれば救国の英雄だ。」

クマさん「へえ～、そうなんだ。けどなぜプーチンは世界中から悪者にされてしまっているのかなあ。」

ご隠居「それは先の石油ガス財閥（オルガルヒ）の幹部を逮捕して懲役刑や国外追放なんかをやったからさ。そうした連中や利権のうまみを手に入れそこなったアメリカの石油メジャーや金融マフィアの連中にしてみればプーチンは最もにつつき敵なんだ。」

クマさん「なるほど立場が違えば英雄か敵かの分かれ道ってわけかア。それにしても新聞や TV ではプーチンをほめるような記事はあんまりないからなあ」

ご隠居「それは世界のメディアで一番力を持っているのは米英、EU 諸国のメディアで日本でも報道されるからさ。クマさんも一つニュースを読むときに反対側の立場の人はどんな考えなんだろう、とかそこに住んでいる人たちはどんな暮らし方をしているんだろうと考えながら読んでみる習慣をつけるといいよ。」

クマさん「え～。じゃあ、今問題になっているイスラム国の連中のことも考えるんですかい。」

ご隠居「そうだなあ、なぜあんなテロ集団に応募するのか、その背景となる人種差別や失業のこと、だれがあのだ連中を支えているのか、『イスラム国』に支配されている住人たちや武器で脅迫されて従っている部族長たちのことなど本当に複雑なんだな。私だって嫌になってしまうが、複雑だが簡単にこの2年の主な動きを整理してみよう。

- ・ウクライナでクーデター、親露派大統領亡命（2014、2月）
- ・クリミア自治区、住民投票でロシア復帰決議（2014、3月）
- ・ウクライナ軍の侵攻、東部親露派が反撃（ 〃 ， 4月）
- ・ウクライナ、ポロシェンコ大統領就任（ 〃 ， 5月）
- ・ 〃 東部上空でマレーシア航空機撃墜（ 〃 ， 7月）
- ・シリア反政府派『イスラム国宣言』宣言（ 〃 ， 8月）
- ・ウクライナ停戦、露、独、仏立ち合い（2015、2月）
- ・中国『A I I Bアジアインフラ銀行』（ 〃 ， 3月）
- ・米露、イラン核問題で共同解決へ（ 〃 ， 7月）
- ・ロシア、シリアへ空爆開始（ 〃 ， 9月）
- ・米艦艇、南沙海域へ派遣（ 〃 ， 10月）
- ・I S、ロシア機、フランス・パリ等連続テロ（ 〃 ， 10月）
- ・トルコ軍、ロシア機を撃墜（ 〃 ， 11月）」

クマさん「それでプーチンが悪者にされているのがクリミア半島をロシアのものにしてしまったからだろう。やっぱり他国から人のものを取ってしまっただけか。」

ご隠居「クリミアは不凍港のロシア海軍の拠点があるところで、もともとはロシア領土だったし、いまでもロシア人が6割以上住んでいる。それをフルシチョフ元首相がウクライナの管理下に任せていた。ところが2014年の政変（クーデター）で親ロシア派の大統領が追放されてしまったんだ。当時の駐ウクライナ大使の馬淵氏の報告でも、クーデターを起こしたのはネオナチと言われている勢力が主力で、国会で大統領解任決議もなく、いまのウクライナ政権は非合法的な存在だと言っているんだ。」

クマさん「なんだ、クリミアはもともとロシアのものだったのか。」

ご隠居「クリミア自治共和国の人たちは、ウクライナ政権が非常事態で生まれたので、自分たちの帰属を住民投票で決めて、国際法及び民族自決の原則によりロシアがこれを受け入れたわけだ。中国のようにチベットやウイグルを武力で攻めて自国のものにしたわけじゃあない。」

クマさん「だって欧米諸国はこのために制裁を行っているんじゃないか。」

ご隠居「だいたいクーデターを行った主力部隊を支援したのがアメリカのネオコンの残党で、国務省のヌーランド国務次官補が現地で支援する姿が放映され、追放した大統領の後継者は誰にしようかなんて現地の大使

と電話で相談する話が youtube で放映されている。世界中の識者は背景にいる国際金融勢力（たとえばジョージ・ソロス）なんかの陰謀だと考えているんだな。そうした勢力がオバマを脅して制裁を行わせているんだ。EUの独仏なんかは嫌々ながらついているって感じた。」

クマさん「なんだ、それじゃあ、あっしもプーチンの悪口をいうわけにはいかなア。」

ご隠居「だから、奥さんも一方的に人の悪口を言わないようたしなめたんだろう。だけど怖いのはクマさんがそう思うように世界中に宣伝して、自分たちの思うようにして利権を奪い取ろうとする金融、石油、軍需産業などの勢力がいることは事実だ。」

クマさん「あっしもよく気を付けなけりゃ〜。でもみんなプーチンが無理を押し通すからウクライナの戦争が起こったんじゃないかと思っているぞ。」

ご隠居「たとえばウクライナの東部にはロシア人系の住民が多いんだが、ネオナチを主力とするウクライナ軍が東部地域の都市を制圧しようとしたが、東部の反撃によって進まない。ロシア軍の籍を脱した義勇兵が親ロシア派を支援している説は私も否定しないが、正規のロシア軍が国境を越えて戦闘に参加していることはないし、ウクライナ側がそうした事実を立証しようとしたが成功していない。逆に言えばそうした動きで足を引っ張られることをプーチンは避けていたんだ。」

クマさん「だけどウクライナの東部地区を飛んでいたマレーシア機が撃墜されたとき、すぐにウクライナ側はロシアのミサイルが撃ち落としたと言っていたぞ。」

ご隠居「もちろんロシア側は否定したが、当時の世界のメディアの多くはミサイル説をとっていたな。しかし親ロシア派はミサイルを持っていないことがわかり、撃墜された残骸や死体を親ロシア側の人たちが丁寧に集め引き渡した。さらに公表された残骸写真を分析した軍事専門家の撃墜がミサイルではなく戦闘機の機銃砲の弾丸であるとの見解。衛星写真でウクライナの戦闘機が付近を飛んでいたこと、中立機関へ引き渡されたはずのブラックボックスやフライトレコーダーがいつの間にかオランダを經由してイギリスへ渡り、1年以上になりながら何らかの報告もされていなかった、などなど疑問点も多い。」

クマさん「う〜ん、そこまで言われてもなあ〜」

ご隠居「マレーシア機の撃墜の話は、はじめは南米から帰るプーチンの専用機をウクライナ戦闘機で撃墜しようとしたとの説もあったんだ。しかし当日、プーチン機はウクライナ上空を通らずにロシアへ帰還していたんだが。そしてもう一つはマレーシア機をウクライナ東部へ管制誘導して戦闘機で撃墜しておいて親ロシア派がミサイルで撃墜したと世界中へ宣伝した可能性がある。これはウクライナ機を撃墜したという兵士がネットで告白した。またウクライナの管制塔の記録がなぜか削除されて公表されない。ロシア側が指摘しながら衛星写真も公表されていない。撃墜の直後、ロシア軍が撃墜を命じたという連絡記録が公表されたがなぜすぐ直後にそんな情報を入手できたのか不明とされている。ウクライナ側がなぜ国際中立調査団の受け入れを拒絶していたのか、等々の疑問が世界中から寄せられていたんだ。何をしでかすかわからん連中がいるってことだ。対米追従の日本政府やマスコミはそんな情報は流さないがね。」

*最近、オランダは誰が撃墜したのか不明だという調査報告を行った。ブラックボックスやフライトレコーダーには触れていない。

クマさん「EU側はアメリカのネオコンなどがクーデターや戦争を仕掛けたことを黙認しているわけなのか〜。」

ご隠居「EUは痛しかゆしなんだ。もともとウクライナが一方的に親ロシア政権ではロシアのガスの安定供給を受ける立場としては不安もある。しかし、経済破たん状況のウクライナがEUに加盟してもらっても負担ばかり大きくなるんで困る。ネオナチの暴走には困り果てて、ウクライナ停戦ではプーチンとポロシェンコ大統領の停戦協定にはアメリカを外してドイツ、フランスが立ち会っているのが実情だ。おまけにギリシア金融危機やシリア難民問題も頭が痛い。」

クマさん「なるほど、だけどオバマは相変わらず制裁を口にして居る様じゃあないか。」

ご隠居「G7の折には制裁強化を主張したオバマも内心ではわかってきているようでヌーランドには停戦順守を進めるよう指示し、またネオナチへの武器供与を停止するよう軍にも指示したとの報道もされた。大国の手前いっぺん振り上げた手を下すにはそれなりのメンツと時間も必要だ。ウクライナ政変も米国の勢力が関与したことはオバマも認めざる得ない発言をしている。オバマもCIAに振り回されているな。」

クマさん「だけどG7に出た安倍首相もロシアへの制裁は追従しているんだろう。プーチンの訪日を迎えるに支障にならね〜のかな。」

ご隠居「クマさんもプーチンの複雑な立場がわかるようだね。これは大事な話だ。プーチンにしてみればいわれのない制裁にはじっと耐えている。しかし天然ガスなどの資源だけに国の経済を頼るわけにはいかない。将来を考えると自国の経済体制の成長を一番考えなくてはならない。EUではドイツが一人勝ちをしているがライバルである。中国とは貿易をやりたいが本当に信頼できる相手ではない。特に極東に中国の進出を認めると中国の経済圏とされてしまう。だから日本との経済交流がロシアの生きる道だと思っている。」

クマさん「ふ〜ん、プーチンがそんなに日本と手を握りたいと思っているのか。」

ご隠居「だけど、クマさん。日本とロシアは法的には戦争状況なんだよ。アメリカ等とはサンフランシスコ条約によって、中国、韓国とはそれぞれ日中平和条約、日韓条約で講和条約は結ばれ、国際法的には一切の戦時処理は終結している。中国や韓国が今更のように蒸し返すのは国際ルールからして非常識だ。日本としても中国の膨張主義的覇権主義には辟易しているし、ようやくアメリカもそれに気が付いてきたようだ。そんな折だから日本としてはロシアと平和条約締結、北方領土返還の解決のチャンスなんだ。日米対中露の対立ではなく、ロシアとの連携を作るチャンスにしなければならない。それが戦略的外交だ。」

クマさん「へー、なかなかおもしろいなあ。そんなにうまく行くんかいな〜」

ご隠居「日露平和条約交渉は1956年に当時の元鳩山首相が日ソ共同宣言で北方領土は歯舞、色丹2島返還で話がついていた。それに横やりを入れたのが冷戦時代のアメリカでソ連の軍事的脅威を減らすため4島返還でないと沖縄を返さないぞと言って恫喝し、日本は建前4島返還論となり、そのままになってしまった。しかし2005年プーチンは日ソ共同宣言を柱とする案を表明している。今年の4月にもそうした案をほのめかしている。日本側の建前は4島返還だが共同宣言の立場もあり、サンフランシスコ条約の当てもエトロフやクナシリは千島列島に含まれ日本は放棄している、との見解もある。ロシア側は4島も含めて千島列島の開発を進めており、学校や豪華な病院、軍事施設建設も進んでおり簡単に手放せなくなっているんだ。メドベージェフ首相が訪問するなど開発も進めている。」

クマさん「それじゃ、4島返還を主張するのは難しい話じゃあないか。」

ご隠居「日本側の返還論は議論百出で、日本共産党も4島返還を主張している。

それに3島返還論、面積で等分返還論など様々な議論があるんだ。こうした日本側の議論があるからロシア側はサンフランシスコ条約には加わっていないが北方4島は日本が放棄しており、領土問題は存在しないという立場だ。しかも戦後70年経ってロシア側住民たちの意向、ロシアの生活や軍事拠点となっている状況もある。だから平和条約が締結できたら歯舞、色丹を『返還』ではなく『譲渡』してもよい、と言う態度であった。要するに日本側のスタンスが決まらないからだ。だからプーチンは歯舞、色丹の返還を前提に平和条約を締結して択捉、国後は日露共同管理で経済発展特区の様な形を提案してくるかもしれない、という人もいる。私もその辺で落ち着いたら穏当だと思うね。」

クマさん「でもそれじゃあ不満だという連中が出てくるんだろなあ。アメリカはどうなんだろう。」

ご隠居「4月にアメリカへ行った安倍首相がオバマと会談した際にこの話をしたという記録があるんだが、オバマがどう反応したかの記録はない。つまりアメリカとしては日本の戦争状態の解消と言う特殊状況、そして中国に対する牽制と言ったことで黙認する、と云う事ではないかとさきほどの元外交官の馬淵氏が書いているがその通りだと思う。」

クマさん「日ロ平和条約になればロシアの天然ガスももっと入るようになるし、経済交流が進めば結構なことだなあ。」

ご隠居「だけどアメリカの石油メジャーなどはどう思うかわからないぞ。彼らは自分たちが世界を動かしていると思っているから自分たちに都合の悪いことは戦争をやっても阻止しようとするんだから。オバマもだいたい翻弄させられている。」

クマさん「そんな話があるんですかい。胡散臭い話だなあ。」

ご隠居「世界はクマさんのような善良な人ばかりではない。金儲けのためには平気で人殺しもやる人間もいるし、もっと悪い奴は豪華な部屋で高級な服を着てそうした命令を出しているやつがいるんだ。」

クマさん「それじゃあ、いつまでたっても世界は平和にならね〜じゃあねーか。」

ご隠居「まあ、人間はすべて性善でもないし性悪でもない。あえて言えば9割は善良の方だ。ただ現実の世界では物欲やら権力欲があり心を曇らされ

ている。でも世界の歴史は少しずつ進歩しているし、性悪の連中はそれぞれ孤立している。人々の意識が変われば悪徳はいつかは滅びるのさ。」

クマさん「ご隠居さんは気楽でいいなあ。よくそんなのんびりしたことを言っているもんだ。」

ご隠居「いや、あまり後ろ向きの話をしたんではまたまたクマさんが落ち着いて仕事ができなくなると困るからなあ。それでも考えてごらん。去年はジョージ・ソロスが『第3次大戦になってもロシアとの戦争を避けるな。』と記者会見なんかで煽っていたんだよ。それでアメリカはNATO軍でルーマニア国境にミサイル陣地を構築する動きをしていたんだ。だからプーチンは西側が約束を破り核基地を作るならロシアもそれに対抗措置をするぞ、と強い声明を出したんだ。マスコミはプーチンが核基地の増強の意図があると報道したが、これは本末転倒だな。ちょっかいを出して原因を作ったことに反対した方が悪く言われているんだ。」

クマさん「なんだ、そういうことがあったんだ。それじゃあプーチンもやっすりするのは当然だ。」

ご隠居「オバマもだいぶわかってきたらしいね。例のイランの核抑制協定もバックのロシアとしても自国の損を覚悟の上で支援したんだ。だからオバマも電話でプーチンに礼を言っている。やっているふりをしているドイツやフランスもそのうちなし崩しで制裁をやめていくだろうな。ドイツのメルケルもクリミアはロシア領だといっているし、ウクライナ問題も安定する方向だ。だからプーチンは自信を深めている。」

クマさん「なるほど。でもプーチンが損を覚悟でイランを抑えたってのはなぜなんだね。」

ご隠居「イランが核問題で譲歩して協定ができればアメリカもイラン制裁をやめるだろう。そうなればイランの石油の輸出が増える。するとロシアの石油やガスなんかの価格が安くなってしまいうだろう。それでも周辺の安定を優先したわけだ。もっと言えばアメリカが有志連合で『イスラム国』を爆撃するフリをしたり、反シリア派ゲリラを養成したが『イスラム国』が強くなっただけだ。おまけに難民がEUへ押し寄せている。プーチンは選挙で選ばれたシリア政権の要請を受けて空爆を始めたんだ。その方が正当性があるだろう。」

クマさん「そういうことだったのかあ。プーチンてなかなかのもんじゃないか。あっしも見直したぜ。」

ご隠居「私はプーチンが善人だ、と言っているわけじゃないよ。彼は民族主義者で、冷静に国益を最優先に考えている。だから東部の親ロシア派を独立させようと考えているわけじゃない。破産状態のウクライナをEU側と共同で支援して安定した政権を樹立させて滞納しているガス代を支払ってもらいたいし、ウクライナがNATOに入るのも抑えたいわけだ。平和と安定した政権がロシアにとっても重要な課題だと冷静に判断しているし、ネオナチなんかの勢力が孤立しつつあることも読んでいる。日本からは経済支援をほしいんだ。」

クマさん「そうなのか。あっしもテレビなんかでプーチンの悪口のマスコミを信じていたんで一方的な宣伝だけを信じちゃあいけね〜んだなア。さっそくご隠居さんの話を女房に言って聞かせてやります。」

ご隠居「も一度整理しよう。なぜウクライナやシリアをめぐる米露が対立したかと言えば、ウクライナも資源の利権争いがあり、シリアはイスラエルの敵ヒズボラをシリアやイランが支援しているため親イスラエルのアメリカは反米親露のシリアは目の敵だった。アメリカは反シリア勢力を支援したがそこからアルカイダや『イスラム国』勢力が拡大した。プーチンは自国の勢力維持のため『イスラム国』やアルカイダ基地の爆撃に踏み切った。しかしアメリカは中国のA I I B（アジア投資銀行）へ英独仏などを牽制したが加入したためドル支配体制維持のため対中戦略へ集中するためロシアとは手を打つ方向となってきたというわけだ。」

クマさん「ご隠居さんの解説はよくわかるが、あまり新聞テレビのニュースじゃア出てこね〜なあ。」

ご隠居「先日のニュースでアメリカが空爆でISのタンクローリー車112台を破壊したというニュースが報道されたが、ロシアは集結している500台や精製備蓄施設を全部空爆で破壊しているのがyoutubeでも報道されて大きな痛手だ。Youtubeの読者は、衛星写真や偵察機でよく見えているのに何でいままでもアメリカは空爆で破壊できなかったんだ、という疑問が寄せられている。だれが資金を出してきたのか、だれが密売の石油を買っているんだ、とプーチンも皮肉っていた。CIAの高官は環境対策のためだ、と言い訳をしている。」

クマさん「つまりマスコミの報道が偏っているってわけかア。」

ご隠居「たとえばトルコ軍がロシア機を撃墜したニュースが流れたが、マスコミは国境侵犯の水掛け論みたいな話だ。しかし、I Sの石油密輸は通常の3分の1位の値段でトルコ側が買っていた、I Sが使っていたトヨタのピックアップ車や武器食料などの物資はトルコから堂々と流入されていた。トルコ政府は独立志向のクルド人と戦っているI Sを支援する実利がある。こうしたことから自国からシリアへ入っている反アサド派（トルクメン）を含めてロシアが爆撃でI Sや他の反政府ゲリラを追い詰めているのが心外なんだ。これで逆にトルコが陰でI Sに肩入れをしていたことが浮き彫りになってしまった感じだな。」

クマさん「なんだ、トルコ政府も実質的にI Sを支援してきたんだ。恐ろしい話だなア。追い詰められてきた『イスラム国』の連中がフランスのパリで連続テロをやったんだが、やっぱりテロは拡散してしまうんだなあ。」

ご隠居「今のトルコは以前の世俗派からイスラム派政権だ。イスラムのテロは、基になっているコーランではムハンマドのところへ神の使いが来ているという語ったことが記されているというんだ。そこには“異教徒を見つけ次第殺しなさい。しかし、もし彼らが悔い改め、礼拝を守り、喜捨を差し出すなら彼らの道を開いてやりなさい。”というんだ。しかしこのコーランだけでなく第二聖典と言うのがあって実にこまごまと戦争だけでなく、食事や性交や月経時の処理の仕方などあらゆることについて指示が書かれているんだ。その中でジハード（聖戦）のことなどテロを行うものにとっても都合のよい解釈というか正当化できる言葉も書かれているんだ。むかしのイスラム帝国などの頃はユダヤ人やキリスト教徒との共存していた時代もあったんだ。しかし近代になって経済的な利権、支配と差別、貧困化などによって西欧文明に対する不満や批判が根強く拡大されている。こうした不満分子を『イスラム国』はひきつけて居る様なんだな。」

クマさん「それじゃあ、和解への道もほど遠いってことかア。」

ご隠居「むかし『文明の衝突』と言う本を書いた人がいたが、西洋と東洋の衝突だった。いまは文明と野蛮の衝突だ、と言いたいね。もう米露の対立なんて言っているわけにはいかんな。それより私は中国がチベットやウイグルでの野蛮な弾圧を今日も続けていることを決して許せないな。オバマの任期は切れるがプーチンの出番はますます大きくなる。

日露の交渉も遅々としているように見えるが必ず前進すると思うな。心配なことは敗退した『イスラム国』の兵がアフガニスタンやウズベキスタンとかの内陸部へ拡散する可能性がある。ウイグルなどで住民への弾圧強化の恐れもある。中国も一带一路なんて言っていられなくなることも予想されている。」

クマさん「なるほど、残虐な国家的虐待とテロ行為は両方とも地球上からなくさなけりゃならね〜な。」

ご隠居「先日も中国から逃れた亡命ウイグル人の組織を束ねる『世界ウイグル会議』のラビア・カーディル議長が来日し、習政権下でウイグル人への弾圧が強まっている現状を国会議員たちに訴えているんだが、英国のメディアが“英国が習主席のために敷いたレッドカーペットはウイグル人の血で染まっている”と引用して訴えていたんだ。」

クマさん「ふ〜ん、イスラム国の連中と中国共産党は似たようなものかア」

ご隠居「イスラム国 I S の連中と中国共産党の似ている所は殺した敵の内臓を喰ったり、生きた臓器を販売したりする点や女性に自民族との結婚強要や無理やりの避妊、兵士による強姦など民族的抹殺をする点、平気で貴重な文化財（遺跡や寺院）を破壊する、などが共通するんだな。しかも中国は 2000 年の歴史で数多くの食人の風習が描かれており、文化大革命の時にも糾弾して殺した人間を食べた事例が記録として残されているんだ。I S よりも恐ろしいね。E U も独仏などは反シリア派支援のため結果的に『イスラム国』を育成してきたアメリカに対する不満も強い。E U の離反によりアメリカの中東への影響力は後退しており、口先でロシア批判している状況だが I S のテロ対策では世界が足並みをそろえて対処しなければならない。これは戦闘より困難な闘いだ。I S は重要な拠点を奪回されて焦っているし、ますますテロに走る恐れがあるのだから米露対立なんて言っていられないな。」

クマさん「おぞましい話だなあ。こうした最低の連中を世界中から追い出させなくちゃあならね〜ぞ。中国共産党も要注意だな。」

ご隠居「いまロシアだけでなく仏、米、英などもようやく足並みをそろえて I S と戦う方向になって来ていることは結構だが、狂信的な I S はますますテロ拡大をするだろうし、中国は経済力を武器に人権批判を抑えようとし、テロ対策を口実にウイグルでの弾圧を強化している。しかし世界の世論、人々の願いと逆行することはますます自分を孤立化さ

せることも共通している。いまに中国はウイグルですぐ西側でのテロと相互に戦わざるを得なくなるだろうな。」

クマさん「なるほど、ご隠居さんが単なる楽天主義ではないと云う事がわかったよ。」

ご隠居「いまさらのように言いなさんな。だけど元外交官の馬淵氏も書いているように外交は、国益7割、道義が3割というんだが、プーチン大統領が冷静な国益主義者であり、国民の安定した支持を受けていることから、プーチン来日には私も期待しているんだ。そして決断するのは日本側なのかもしれないんだ。」

クマさん「プーチンは日本が好きだ、って言っているようだ。」

ご隠居「うん、それも大事だが情だけでは外交は進まない。ロシアの将来と北方領土問題を考えるとき、目先の現地の情実より高度な判断で相互の譲歩が実現されることを望みたいね。そのために互いに信頼し合える相手であることは必要だ。13年2月に訪露した森喜朗元首相に対し、プーチン大統領は自らが言及した「引き分け」提案について、「勝ち負けのない、双方に受け入れ可能な解決」と説明しているんだ。だからプーチンが『引き分け』でいこうと言っていることは大きな意味があるんだ。そのためには互いに言うべきは徹底して言う。妥協するときには決然として判断することが重要だ。」

クマさん「そうなると安倍首相の判断も重大だなあ。建前派もいるし、うまく対応できるか心配だ。」

ご隠居「これまでの面談では呼吸は合っている様だ。どこかの評論家が言っていたがオバマよりウマが合うようだ。もし日露が話し合いで領土問題を決定し、平和条約が締結される方向になれば一番ショックを受けるのは中国の習近平だろう。プーチンに領土の平和的解決の先例を作られ、中露の結束に溝を作られ、日本企業がロシアへどんどん進出して、製品を中国へ輸出するようになったら面目も丸つぶれだからなあ。彼の『中華の夢』もどうなるか。」

クマさん「ご隠居さんも日本の夢を語るってやつですかい。」

ご隠居「いやね、眠れない夜の夢かもね。でもこうした方向へ両国が動いている以上、遅かれ早かれ実現するさ。戦後70年もたっているんだから

なあ。もし今回、実現できなければ当分の間困難となることは両国の外交部もわかっているからだ。問題はどんな形で決着できるかだ。多数の国益がぶつかり合っているTPPよりも2国間の懸案事項だし、最後の決着のチャンスだ。」

クマさん「なんか、ご隠居さんの方が熱いんじゃないのかな。」

ご隠居「そんなに冷やかさんでくれ。クマさんもプーチンが何を考えているのか少しは分かっただろう。私が言ったことは国際情報に詳しい人の話を総合して話しているんだから当たらずといえども遠からじ、と言うところだと思うよ。プーチンはウクライナの問題は自信を持っている。エネルギー資源でコントロールできると考えているからだろう。シリアでも空爆に踏み切って主導権も握った。」

クマさん「なかなかの戦略家なんだなあ。だから日本との交渉でもただ仲良くしようなんてヤワじゃあないだろうな。」

ご隠居「国益に基づいた冷静な判断をするから一本筋ではいかないよ。でもソ連崩壊の時も軍部は中立を保ち、中国軍のように自国の国民を戦車で轢いたり無差別銃撃なんかしていない。中国の軍隊は共産党のために生まれたんだから今も政権をかなり牛耳っている。プーチンは国民の支持が高く軍も押さえている。欧米の経済制裁でも、もともと混乱していた経済も低位安定している様だから、実利的に話ができるし思い切った方針を出してくる可能性があると思うな。」

クマさん「アメリカがまた邪魔するんじゃないだろうな。」

ご隠居「その心配はないだろう。7月にケリー国務長官がロシアへ行ってプーチン大統領や外務大臣と8時間も話をした後、記者会見でウクライナの停戦協定が守られるなら制裁解除する、と表明している。クリミア問題も触れずに黙認する腹だ。今アメリカは中国のA I I B投資銀行では参加国が予想以上に多く、南沙諸島の埋め立て軍事基地化で面目を失っている。だからイランと手打ちをやり中東から手を引き、ウクライナ問題でもロシアと手を打てば、対中国でのアジア重視政策に専念できる。」

クマさん「だけど日本の外相がロシアで交渉した時にはかなり激しいやり取りをした様じゃあないのか。それに安倍首相がプーチンと話したけどあまり進展しなかった様じゃあないか。」

ご隠居「それは、いま原油やガスも安くなっていてどうしてもロシアから買わなくては、という状況じゃあない。ロシア側も領土問題はない、領土問題よりいかに経済的な実利、日本の資本、技術の移転などを得るかという対応が続いており、日本側としてはまずこちら側の言い分はたっぷり外相から伝えておく、いずれはどこかで手を打たなくてはならないことは分かっている。それが首脳会談で決着ということだ。まだ落としどころが十分ではないと言うところだ。」

クマさん「本当にアメリカとうまく手を打てるかな〜」

ご隠居「アメリカも中国にはA I I Bでミソをつけられて不信任は増大している。しかしアメリカの政界、財務省や軍部内の親中派、中立派、反中派が互いに主張が拮抗し、オバマも振り回されている。今回、習近平の国賓待遇も共和党などは反対していた。そしてバチカン法王の訪米により、またインドの首相も訪米しシリコンバレーでは7万人の集会をやってアメリカ国内報道では習近平はかすんでしまった。アメリカは対中国のためにロシアと和解する方向だ。ウクライナ停戦維持で一致し次は制裁の解除だ。そうなれば日本としても決断しやすくなる。米露は、対『イスラム国』で共同する方向で一致したがアサド大統領の再選では不一致だがね。これも対ISでの主導権をロシアが握っていることはEU側も承知しておりアメリカも弱いし、プーチンはオバマの顔を立ててやる立場だ。だからオバマはプーチンに“建設的なパートナーだ”なんてエールを送ったりしている。アメリカは後退傾向だと思うな。」

クマさん「へー、相変わらず複雑だなあ。うまく折り合っているのかなあ。」

ご隠居「プーチンは天然ガスを中国へも売ろうとしたが、本心では中国に対しては疑心暗鬼だ。中国は私益優先で、信義がない。日本の立場とすればロシアの原油や天然ガスをもっと輸入したい。ロシアの消費力は高いから輸出も増やしたい。ロシアの産業で強いのは軍需産業だけでなくIT産業もアウトソーシング（委託生産）ではインド、中国について世界3位だ。これは昔から科学・数学教育が進んできたせいだ。日本も信義を反故にする中国への発注をやめてロシアへ発注したほうがいい。ハッカー、サイバー戦のこともあるからなあ。」

クマさん「プーチンも中国を信用していね〜んだ。アメリカは頭をなでて従わせていたつもりの中国に裏切られて噛みつかれたようなもんだな。」

ご隠居「だからニクソン元大統領は、『われわれは対ソ連のため、中国と言うフランケンシュタインを作ってしまった。』という反省を述べていたんだ。つまり中国の経済軍事的強化に手を貸してきた反省だ。なんせ世界のパソコンの90%を中国で作らせてきたんだがサイバーテロで大きな損害を受けているんだからな。オバマは中国を甘やかしてきたため今は強く反省してるんだろう。クマさんも一面的な判断しないで奥さんにどなったりしないで仲良く落ち着いて話をするように心がけなくてはいけないよ。まず相手の話によく耳を傾けて、違いがあることはじっくり話し合うことだな。相手の云う事に耳を貸さず、自分が絶対正しい、なんて主張するやり方はいまの中国、韓国と一緒に。これじゃあ、みんなからバカにされ、しまいには相手にされなくなってしまうんだよ。」

クマさん「あっしが中国や韓国の連中と一緒にされたんじゃあ男が下がってしまわ〜。まあ謝罪はしないが大いに反省はするとしようかな。」

ご隠居「どっかの国の首相みたいな言い方だな。まあ、本当のことを知ってそれに基づいた話をしてま〜るく解決できるといいね。奥さんには頭を下げたほうがいいね。外交の場では謝罪とは損害賠償を伴う行為だけれど、日本では和解の方法なんだから。」

クマさん「てへへ、そう嫌味を言わないでおくんなせ〜。」

ご隠居「それに日本は生産財の製造が得意なんだが、その半導体や光ファイバー、MRIなどの製造に欠かせないヘリウムが枯渇している。いま日本は98%近くアメリカから輸入しているが、もう10年以内にアメリカからの輸入はひっ迫すると国会答弁があり、いまでも制限し始めている。ヘリウムは天然ガスの精製の時にできるが、シェールガスからは採れないんだ。だから日本の工業の発展のためにもヘリウムが必要なんだ。ようやくロシアで2018年から日本の企業が進出して共同生産を行うようだ。いまヘリウムガスがないのでディズニーランドではミッキーマウスの風船を飛ばすこともできないんだそうだ。」

クマさん「あっしもMRIのお世話になったこともあるんだが、風船も飛ばせないなんてちっとも知らなかったなあ。まあディズニーランドで子供たちが風船揚げを見られるようヘリウムガスをロシアから買えるためにもロシアと仲良くするんだと行ってやりますかね。」

ご隠居「そうなんだよ。世界と仲良くが一番だよ。家庭でもそうだよ。ただ国

の外交はしたたかに国益優先で行くのは当然だ。日本人も狭い料簡でなく一面的な判断でなく複合的な判断力を養わなくてはならない。日米同盟が基本であるが、対中国を視野に入れながらロシアと和平条約を締結することはそれが進めば領土問題は進展する、という戦略的な判断も必要ではないのかな。」

ご隠居「昨年、安倍首相がロシアへ行った際には100人の経営者を引き連れていき、それ以来政府だけでなく日本の経営者たちも定期的にロシア側との懇親会議を開催して今後の石川島播磨の投資計画なんかの意見交換も進んでいる様だ。たとえば三菱ふそうなんかはこの9月からトラックの生産を拡大して10年後には6倍となる計画を進めている。先日も日本の半導体が入らないため中国でスマホを作れないというニュースが流れたけど、ロシアのヘリウムガスを使えるようになればロシアで半導体を作ればいいんだ。」

クマさん「なるほど、プーチンがいい人か悪かなんて言っているより、『引き分け』でも抑えるところは抑えて将来に発展の余地も残すってわけですか。その方が中国の孫子の兵法より上手だな。」

ご隠居「日本側もそうした状況を見ながらオバマの黙認のもとでロシアとの交渉を繰り返し進めており、対ロシアとの経済取引はドルでなく円で決済しようとの話し合いさえ行われているんだ。」

クマさん「え～。そんなことをしたらアメリカは怒るだろうな。」

ご隠居「しかしアメリカのドル世界支配体制はもはや凋落しており、今後いろいろな取引も2国間で行われることも多くなるだろうね。TPPは『大筋合意』となったようだが、これは日本が後から入ってアメリカ以上に熱心に根回しをやって『大筋合意』となったようだが、果たしてアメリカが順調に議会決議を得られるかどうかわからない。次期大統領有力候補として運動をやっているクリントンもこうした空気を読んで反対を表明している。つまりアメリカも中東や南米で影響力を失い、太平洋で支配体制を維持しようとしているんだ。日本政府や官僚は基本的には対米追従だが、今後EUと折り合いながら日本との経済的強化を望んでいるロシアとの関係強化は避けて通れない重要な戦略課題なんだ。」

クマさん「なるほど。世界は動いているんだなあ。するって～とプーチンがますます役割が大きくなるってのもわかるな。来日する予定も来年にな

ったようだが日露交渉も大きく進むといいな〜。」

ご隠居「クマさんもだいぶわかってきたようだね。世界はいろいろ複雑に絡み合って動いているんだから、だれが善人、だれが悪人なんて単純じゃあないのだよ。これから世界は大きく動いて行くんだよ。こうした動きをじっくり見ながらも、日々の暮らしはつつましく、地域に貢献することが人間の生きる役割だと思って頑張りなさいよ。」

(2015, 12)

<閑話休題> ユーモアでお笑ってください。(ホームページより)

◎ 入ったり出たり

お互いに悪口など言い合える仲の友達同士が道で出会った。

A「オイ、貧乏神、お前どこへ行くのだ？」

B「おらあ、お前の家へ行くところだ！」

いまましい事を言うヤツだと思いながら別れたが又出会った。

今度は相手を良く言おうと思って…

A「オイ、福の神、どこへ行ったのだ？」

B「今、オマエの家から出て来た所だ！」

◎ ことわざパロディー

官僚の 官僚による 官僚の為の政治

売りは安く 買いは高し

ブスは食わねど 妻用心

人の不倫見て わが不倫直せ

記事も書かずば 叩かれまいに

寒さ暑さも お棺まで

うっかり者の 子沢山

◎ 川柳 (第一生命募集の優秀作品)

神様に なんでお金が 要るのだろう

あの世から 見れば 死ぬ日は 誕生日

刺青を見て 騒ぐ子の 口ふさぐ

受験生 一男去って また次男

参ったな 受験番号 5963

大掃除 そこはオレやる 訳がある

陽当りの良い マイホーム 昼は留守

今日辞める 明日辞めるで40年

私より 妻は保険を 頼りにし

暖房をケチって 風邪ひき 医者通い

業績を上げるつもりが ねを上げる

結婚前 キミと来たねと 墓穴掘り

眉毛無い 朝の彼女に やっと慣れ

忘れぬよう メモした紙を また探す

健康が 赤字家計の 救世主
仕分け人 妻に比べりや まだ甘い
久しぶり 名が出ないまま じゃまたね
懐かしい 母校の便りは 寄付依頼
先を読め 言った先輩 リストラに
定年後 田舎に帰れば 青年部

◎ 父兄の授業参観

ある小学校の学力参観の時、先生のどんな質問にも全生徒が挙手をする。そして誰を指名しても立派な正解をするので、その先生の指導方法が賞賛されていた。そこで、友人がその教育指導方法の秘訣を、そっと尋ねると、
「しごく簡単な方法さ。参観日に正解を答えられる生徒は右手を、分らない生徒には左手を上げるように言っておいただけさ。」

◎ <ユーモアクイズ> サア～頭を柔らかくしてください。

- Q 1 暦では、1年のうちには春、夏、秋、冬もありますね～
では最も日数の長いのは？
- Q 2 一字だと体の一部、二つあると家族になるものは？
- Q 3 動物園に新しい動物が来ることになっているのに渋滞

のためまだ来ません。どんな動物でしょうか？

＜あとがき＞

・年の瀬を迎え、はや平成 27 年もまもなく永遠の彼方へ去っていきます。激動する世界をさめた眼でみていると、人間であることを早く卒業したくもなります。しかし、平知盛ではありませんので「見るべきほどのことは見つ」と言って死ぬるほどのことはまだ見て居ません。

・きたる新たな年がどんな驚く話が待ち受けているのか、楽しみであり不安でもあります。直観では中国経済の破綻が深まり世界経済は大不況、アメリカのドル支配体制の後退、日本もデフレ脱却はできず増税論議のみ先行するという少々暗い予想です。外れる方向へ祈ります。

・長屋談義にいろいろお言葉をいただきます。クマさんは自分のことであり、その不安を懸命に識者たちのお説を受け売りするのがご隠居です。書きながら自分が一番ご隠居から学んでいます。

・皆様のご多幸を祈念し、引き続きご厚誼を乞い願います。 七無齋

・クイズの答え；①1 年が一番多い。② 「ハ」は歯であり、母です。③「トド」
“まだトド来ません。”